



2002年度（2003年3月期）
決算説明会

2003年5月21日
大正製薬株式会社
社長 上原 明

業績概況

| | 2002年度 実績（億円） | 前年比 増減 | 2003年度 予想（億円） | 前年比 増減 |
|------|------------------|-----------|------------------|-----------|
| 売上高 | 2,741 | 1.0% | 3,100 | 13.1% |
| 営業利益 | 544 | -10.4% | 569 | 4.6% |
| 経常利益 | 609 | -9.8% | 617 | 1.4% |
| 当期利益 | 354 | -5.3% | 354 | 0.0% |

- 2002年度は厳しい環境のなか、目標を達成
- 2003年度は富山化学との提携本格化、着実に成果をあげていきたい。

中期経営課題：成長力の強化

- 大正富山医薬品の本格化
 - 2005年度の売上1200億円の達成に向けて、売上のシナジー効果を早期に実現
- 一般用医薬品の売上拡大
 - 市場鈍化のなかで、積極的な戦略
 - 生活者ニーズにあった新製品、新カテゴリー
 - 新しい流通業界に適した営業
- 研究開発体制
 - 医療用では自社品の開発に加え、富山との提携

中期経営課題：収益力の強化

- より効率的な体質作り
 - 新しい業務基幹システムの導入
 - 研究開発費：効率的な投資
 - 生産の最適化

中期経営課題： セルフメディケーションの振興

- セルフメディケーションの定着
 - 生活者向けの情報提供活動
 - セルフメディケーション推進協議会（SMAC）
- 規制緩和、一般用医薬品のあり方
 - より生活者の利便性が高まる方向へ
- 常に変化する環境をにらみながら、業界トップ企業として先鞭を切れるような戦略を実行